

科 目 名
-------

<b>医療統計処理学</b> <b>Basis on pharmaceutical</b> <b>statistics</b>
---

2年 後期 1単位 必須

森内 宏志（臨床薬学研究室）

## 概 要

臨床、基礎を問わず薬学の分野には統計の能力を必要とする場が多い。動物や細胞レベルの実験や臨床開発における統計能力の必要性はもちろんのこと、薬剤師業務においても、例えば、臨床の論文を読んでいると、クスリと副作用、ある因子と病気の関連を統計分析して証明している論文が多くある。このような時に統計的な基礎知識および考え方が身についていないと、論文の意味そのものが理解できず、薬剤師のアカデミックな仕事である最先端の医療情報を収集・分析・伝達することができない。また、多くの臨床現場において試験管をにぎる研究は研究室が無いと困難かもしれないが、日常の業務で遭遇する臨床的な問題を統計を使って研究・問題解決し、それで論文を書くことは小さな机上でも可能で、薬剤師業務を行いながら博士の学位修得をめざす者にとっても統計は有用な武器となろう。

## 授業計画

本講義では以下のような項目を学習することによって、統計学の基礎的な考え方および分析法を習得する。

- ・生物統計学の基礎〈C17(5)-1〉

到達目標：

- 1) 正規分布、t分布、帰無仮説、仮説検定の概念を説明できる。
- 2) パラメトリック検定とノンパラメトリック検定の使い分けを説明できる。
- 3) 主な二群間の平均の差の検定法（*t*検定、Mann-Whitney U 検定）について、適用できるデータの特性を説明し、実施できる。
- 4)  $\chi^2$  検定の適用できるデータの特性を説明し、実践できる。
- 5) 分散分析法、相関の概要を説明できる。

## 授業方法

通常の統計講義に加え、演習を少し行う予定である。

## 評価方法

原則試験によって行い、授業に対する姿勢（無遅刻・無欠席など）も評価対象とすることも有り得る。

## 教 材

推計学のすすめ—決定と計画の科学—、佐藤 信、講談社（Blue Backs）  
ISBN 4-06-117716-8

## 履修上の注意

復習を欠かさないこと。